3．ジェルマン・カタンガ
Germain KATANGA
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。2004年12月にコンゴ民主共和国国軍将軍に任命。2007年10月18日、コンゴ民主共和国政府より国際刑事裁判所へ引き渡し。2009年11月に同人の裁判開始。
（指定の根拠）ＦＲＰＩ幹部。武器禁輸措置に違反して武器の輸送に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用に責任があった。

4．トマ・ルバンガ
Thomas LUBANGA
（生年月日・出生地）コンゴ民主共和国イツリ
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ＵＰＣ／Ｌ（コンゴ愛国同盟ルバンガ派）による人権の侵害に関与したため2005年３月よりキンシャサにて拘留。2006年３月17日、コンゴ民主共和国当局により国際刑事裁判所（ＩＣＣ）に移送された。2009年１月に同人の裁判が開始され、2011年中には終了することとなっている。
（指定の根拠）ＵＰＣ／Ｌ議長。ＵＰＣ／Ｌは国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2003年までのイツリにおける児童の徴兵及び使用に責任があった。

5．カワ・パンガ・マンドロ
Khawa Panga MANDRO
（別名）カワ・パンガ（Kawa Panga）、カワ・パンガ・マンドロ（Kawa Panga Mandro）、カワ・マンドロ（Kawa Mandro）、イブ・アンドゥル・カリム（Yves Andoul Karim）、マンドロ・パンガ・カワ（Mandro Panga Kahwa）、イブ・カワ・パンガ・マンドロ（Yves Khawa Panga Mandro）、「チーフ・カワ（Chief Kahwa）」、「カワ（Kawa）」
（生年月日・出生地）1973年８月20日、コンゴ民主共和国ブニア（Bunia）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍、2005年４月からイツリ和平プロセス妨害のためにブニア（Bunia）市において刑務所に留置。2005年10月にコンゴ民主共和国当局により逮捕され、キサンガニの上訴裁判所で無罪判決が下されたが、その後人道に対する罪、戦争犯罪、殺人、加重暴行及び殴打の新たな容疑でキンシャサの司法当局に移送される。2011年６月現在、キンシャサのマカラ中央刑務所に留置。
（指定の根拠）国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであるＰＵＳＩＣ（コンゴ統一性・領土保全党）元党首。武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2001年から2002年までの児童の徴兵及び使用に責任があった。

6．イルタ・ドゥグラス・ムパモ
Iruta Douglas MPAMO
（別名）ムパノ（Mpano）、ドゥグラス・イルタ・ムパモ（Douglas Iruta Mpamo）
（生年月日・出生地）1965年12月28日、マシシ（Masisi）、バシャリ（Bashali）、1965年12月29日、コンゴ民主共和国（旧ザイール）ゴマ（Goma）、ウヴィラ（Uvira）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。2011年６月現在、ルワンダのギセニ（Gisenyi）に居住。大湖地域ビジネス会社（Great Lakes Business Company：ＧＬＢＣ）が運航する２機の航空機の墜落以降、職業は不明。
（指定の根拠）大湖地域航空会社（Compagnie Aérienne des Grands Lacs）及び大湖地域ビジネス会社所有者及びマネージャーであり、同社の航空機は国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵に支援を提供するために使用された。また、飛行及び積荷に関する情報を偽装した責任があり、それは武器禁輸措置の違反を可能にするために行われた模様である。

7．シルベストル・ムダクムラ
Sylvestre MUDACUMURA
（別名）「ラドジャ（Radja）」、「ムペンジ・ベルナール（Mupenzi Bernard）」、「ムペンジ少将（General Major Mupenzi）」、「ムダクムラ将軍（General Mudacumura）」
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍、ルワンダ解放民主勢力の軍事部門（ＦＤＬＲ－ＦＯＣＡ）の軍事司令官であり、政治部門の第一副議長兼ＦＯＣＡ高等司令部長官として、ヨーロッパにおけるルワンダ解放民主勢力（ＦＤＬＲ）指導者らの逮捕以降は全般的な軍事的及び政治的な指揮機能を統合。2011年６月現在、北キブ（North Kivu）州ワリカレ（Walikale）郡ボゴイ（Bogoyi）付近のキコマ（Kikoma）の森を拠点とする。
（指定の根拠）ＦＤＬＲの現地司令官であり、国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであり武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与しているＦＤＬＲ軍の政策に影響力を行使するとともに、ＦＤＬＲ勢力の活動に指揮及び統制を維持している。ムダクムラ（またはその配下）は、2009年５月のブスルンギ虐殺時を含め、ドイツにいるＦＤＬＲ指導者のムルワナシ・アカと電話連絡を取っており、2009年のウモジャ・ウェトゥ及びキミアⅡ作戦時に軍事司令官のギヨーム少佐と電話連絡を取っていた。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、2002年から2007年までの北キブ州における同人の指揮下の部隊による27件の児童の徴兵及び使用に責任があった。

8．イグナス・ムルワナシ・アカ
Dr. Ignace MURWANASHY-AKA
（別名）イグナス（Ignace）
（生年月日・出生地）1963年５月14日ルワンダ共和国ブテラ（Butera）、ルワンダ共和国ブタレ（Butare）、ンゴマ（Ngoma）
（旅券、人定情報）ルワンダ国籍。2009年11月17日にドイツ当局に逮捕された。ガストン・イヤムレミエ（別名ルムリ）にＦＤＬＲ－ＦＯＣＡ議長を交代。2008年及び2009年のコンゴ民主共和国におけるＦＤＬＲ部隊による戦争犯罪及び人道に対する犯罪に関するムルワナシ・アカの裁判は2011年５月４日にドイツの裁判所において開始。
（指定の根拠）ＦＤＬＲ議長及びＦＤＬＲ軍の最高司令官であり、国連安保理決議第1493号（2003年）20の規定にいう武装集団及び民兵の一つであるＦＤＬＲ軍の政策に影響力を行使するとともに、ＦＤＬＲの活動に指揮及び統制を維持しており、武器禁輸措置に違反して武器の不正取引に関与。ＦＤＬＲ軍事部門司令官と電話連絡を取っている（2009年５月のブスルンギ虐殺時を含む）。高等司令部に対し軍事命令を出した。ＦＤＬＲ部隊に対する武器及び弾薬の移送の調整や使用のための特定の指示の伝達に関与。ＦＤＬＲ支配下にある地域における天然資源の違法売却を通じて得た多額の資金を運用している。児童と武力紛争に関する国連事務総長特別代表事務所によると、同人は、ＦＤＬＲの議長及び軍司令官としてコンゴ民主共和国東部における児童の徴兵及び使用に責任があった。

9．ジュール・ムテブチ
Jules MUTEBUTSI
（別名）ジュール・ムテブシ（Jules Mutebusi）、ジュール・ムテブジ（Jules Mutebuzi）、ムテブチ大佐（Colonel Mutebutsi）
（生年月日・出生地）1964年、コンゴ民主共和国南キブ州ミネンブウェ（Minembwe）
（旅券、人定情報）コンゴ民主共和国国籍。ＦＡＲＤＣの第十地域の元地域軍司令官補であり、2004年４月規律違反により除隊。2007年12月、同人は、コンゴ民主共和国側に越境しようとしたところをルワンダ当局により逮捕されて以降、国外移動を禁じられてキガリ（Kigali）で生活している。